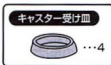
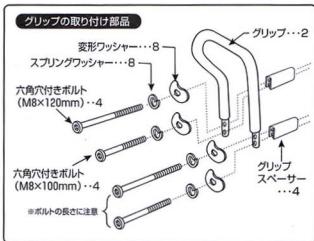
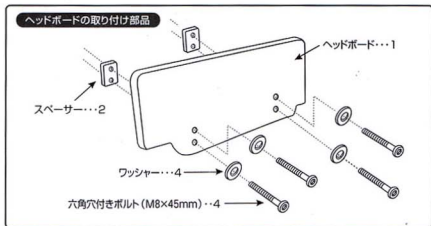


●組立前に部品がすべて揃っているか、確認してください。



仕様

| | | | |
|--------|---------------------------|---------|---|
| 商品番号 | AX-B635EW | 本体 | 銅(ウレタン樹脂塗装)、MDF(プリント紙化粧)、PP、PE、PU、ABS |
| 商品名 | 収納式電動リクライニングベッド(Wファンクション) | マット内部構造 | 鋼、EPS(発泡ポリスチレン)、ウレタンフォーム、ポリエステル綿(抗菌・防臭・防ダニ加工) |
| 定格電圧 | AC100V(50/60Hz) | マット表面生地 | ポリエステル100%(Wメッシュ) |
| 定格消費電力 | 40W | マット裏面生地 | ポリエステル80%、綿20% |
| 本体サイズ | (約)幅1035×長さ1935×高さ585mm | 通常使用荷重 | 90kg以下 |
| 収納時サイズ | (約)幅1035×長さ685×高さ1045mm | 生産国 | 中国 |
| 重量 | (約)41kg | | |

組立順序



▲注意 説明書をよく見てあらかじめ把握しておいてください。

▲注意 組立時の注意



必ず守る

- 組立は大人の方が説明書に従って組立てください。
- 手をケガしないよう手袋をしてください。
- 組立作業はフローリング(木製床)などキズ付けないように、ダンボールケースの上で行ってください。
- 組立の際は、近くにお子様やペットがいないか十分に注意してください。



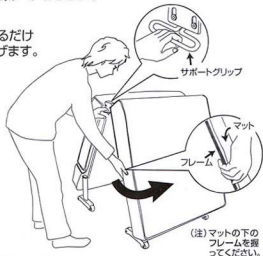
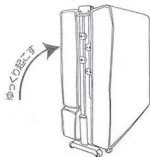
ほごみこみ注意

- 組立の際は、手や指などはさまないよう十分注意してください。

1 部品がすべて揃っているか、部品一覧表(5ページ)で確認してください。

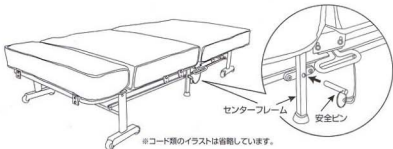
2 本体を、ゆっくりと起こし、
下図の要領でベッドを広げてください。

- ① サポートグリップを握り、
- ② 片方の手はフレームの出来るだけ
下方を握り矢印の方向へ広げます。



※コード類のイラストは省略しています。

3 ベッドを広げたら、安全ピンを確実に差し込んでください。

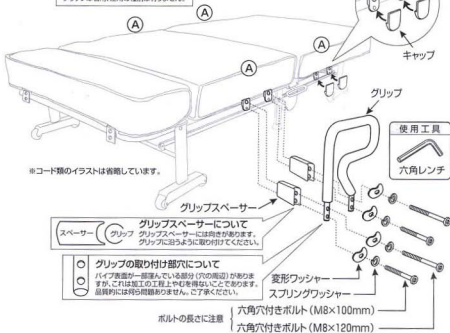


4 グリップを取り付けてください。

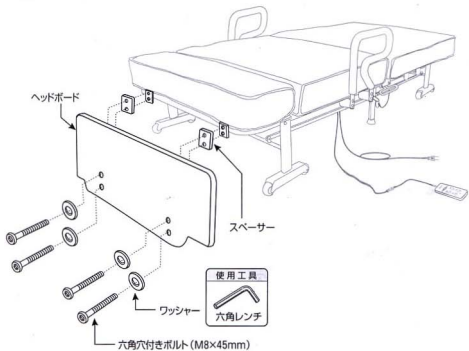
※グリップは下記(A) 4カ所に取り付け可能です。
 お好みの位置に取り付けてください。
 又、方向も どちらでもお好みを選んでください。

グリップを取り付けない部分は
 キャップを取り付けてください。

グリップは右用、左用の種別は有りません。

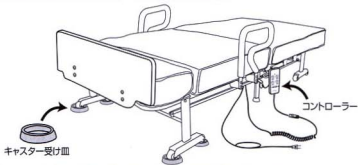


5 ヘッドボードを取り付けてください。



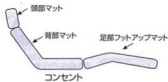
6 キャスター受け皿をセットしてください。

※キャスター受け皿は、ベッドを移動させないためのものです。
頭側、足側のいずれかのキャスターにセットしてください。



※以上で組立は終了です。最後に「コントローラー」をサポートグリップに掛けてください。

背部リクライニング、足部フットアップは
コントローラーで行います。(下記)



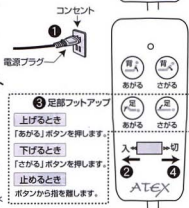
背部リクライニング方法

- 1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 2 電源スイッチを「入」にしてください。
※「入」の方向へスライドさせます。
- 3 コントローラーの「上部2つのボタン」でリクライニング角度をお好みの位置に設定してください。
使い終わったら・・
- 4 電源スイッチを「切」にしてください。
※「切」の方向へスライドさせます。
- 5 リクライニング調整後、電源プラグを抜いてください。



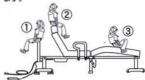
足部フットアップ方法

- 1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 2 電源スイッチを「入」にしてください。
※「入」の方向へスライドさせます。
- 3 コントローラーの「下部2つのボタン」で足部フットアップの高さをお好みの位置に設定してください。
使い終わったら・・
- 4 電源スイッチを「切」にしてください。
※「切」の方向へスライドさせます。
- 5 フットアップ調整後、電源プラグを抜いてください。



▲注意

下図の①ヘッドボードの上に乗ったり座ったりしないでください。また、リクライニングさせている状態で②頭部リクライニング部や③足部フットアップ部の上に乗ったり座ったり絶対にしないでください。
故障の原因や、思わぬ事故になる恐れがあります。



▲警告

- リクライニング及びフットアップは、必ず大人の方がおこなってください。又、周囲にお子様やペットなどいないことを確認しておこなってください。
- 身体がうつ伏せや横向きの状態でも背もたれを上げないでください。事故やケガの恐れがあります。
- 頭部・背部リクライニング部分に腰を掛けたり、座ったりして作動させないでください。故障の原因や事故、ケガの恐れがあります。
- 足部フットアップ部分に腰を掛けたり、座ったりして作動させないでください。故障の原因や事故、ケガの恐れがあります。
- リクライニング調節やフットアップ調節が終わったら、必ず電源スイッチを切ってください。又、長時間使用しない時やお出掛けの際は誤作動や事故を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全ピンについて

安全ピンは「ベッド使用时」に必要なピンです。
必ず下記の通りに取り扱ってください。

ベッド使用时 = 安全ピンを確実に差し込む

ベッドを閉じる時 = 安全ピンを抜く

▲注意

安全ピンは特別な固定はしておりませんので、時々ストッパー穴に確実に差し込まれているかを確認してください。



▲注意

閉じる前に、必ず安全ピンを抜いてください。抜かず折りたたむと安全ピンが折れ曲がりやすくなります。



ベッドの開き方

- 1 電源プラグがコンセントから抜けているか確認してください。
- 2 サポートグリップを握ってください。
- 3 片方の手はフレームの出来るだけ下方を握り矢印の方向へ広げます。
- 4 広げた後、安全ピンを必ず差し込んでください。(上記安全ピンについて参照)



1 電源プラグを抜く



4 安全ピンを差し込む



ベッドの閉じ方

- 1 電源プラグがコンセントから抜けているか確認してください。
- 2 安全ピンを抜いてください。
- 3 サポートグリップを握って持ち上げます。ベッドが上がって来ると、片方の手を添えて、ベッドが移動しないようにして閉じます。



1 電源プラグを抜く



2 安全ピンを抜く



▲注意

閉鎖時は、指や手など挟まないように十分注意してください。
又、キャスターの通る所には、動作の障害となる物を置かないでください。

故障かな？

■コントローラーのスイッチを押しても全く動かない場合は、下記の事項をチェックしてみてください。

| 症状 | チェック | 処置 |
|------------------------|----------------------------------|--|
| コントローラーのボタンを押しても全く動かない | 電源コードの電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ | 電源コードの電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。 |
| | コンセントに電気がかかっていますか？ | コンセントに他の器具を接続して電気がかかっているか確認してください。 |
| | コントローラーのジャックがはずれていませんか？ | コントローラーのジャックを確実に差し込んで、カバーをロックしてください。 (下記コントローラーの外し方の逆の手順) |
| | コントローラーの電源スイッチが「切」の位置になっていませんか？ | コントローラーの電源スイッチを「入」の位置に移動させてください。 |

上記以外の原因で動かなくなったとき・

- コントローラーの故障が考えられます。
下記の要領でコントローラーのジャックを外して、コントローラーの修理をお買い求めの販売店に依頼してください。

コントローラーのジャック



ストッパーを外す

ベッドの移動方法

電源コードが抜けているのを確認して「キャスター受け皿」を取り外し、両手でベッドをしっかり支えながらキャスターの「回転方向」に注意しゆっくりと移動してください。
移動が終わると、「キャスター受け皿」をセットしてください。



電源プラグを抜く



▲ 注意

- 移動は大人の方が行ってください。又、移動の時はキャスターの「回転方向」に注意し、ゆっくりと移動してください。
(床にキズを付けるおそれがあります。)
- 重量がありますので、周りに十分ご注意ください。
- 床材の種類によっては床にキズがつくことがあります。

お手入れ・保管・点検

マット部・パイプ・プラスチック部

- 中性洗剤を含ませた布をよく絞ってふいてください。

ヘッドボード部

- 乾いた布で乾拭きしてください。
- ご使用後1ヶ月程度で各部組立ネジのゆるみを点検してしっかり締め直してください。その後は定期的(3ヶ月毎)に点検してください。
- 保管の場所は、直射日光が長時間あたる所、ストーブの近く、多湿の所は避けてください。



シンナーやベンジンは使用しないでください。